

令和5年度 コンテナ苗の安定需給協定における主な提案内容等

| 協定者 (所在市町村) | 主な提案内容等 |
|----------------------|---|
| (有)谷口精光園 (北斗市) | <ul style="list-style-type: none"> ・機械化を更に進めるため、令和6年度まで敷地内を計画的に舗装化し、作業の軽労化を図る。 ・冷蔵機能付き車両を導入し、夏季でも車内温度を調整し、春から秋にかけての出荷を可能とする。 ・溶出期間の異なる緩効性肥料を樹種に応じて施用し、出荷時の付加価値の向上を図る。 ・地元小学校の木育授業において、森づくりの一環としてコンテナ苗を紹介し、普及活動に努める。 |
| (有)竹内山林緑化農園 (美瑛町) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度まで「JICA中小企業・SDGSビジネス支援事業」に採択され、提案製品・技術により、課題に対して見込まれる成果を挙げる。 ・試行的に低温貯蔵庫を活用した出荷時期の拡充による作業時期の分散化を図り、軽労化に取り組む。 ・雑草の繁茂を抑制する独自の改良器具を導入し、出荷時の品質向上を図る。 ・改良器具を有効的に組み合わせ、牧草ロールを資材回収に活用することで、作業工程の効率化を図る。 |
| (有)石田農園 (長沼町) | <ul style="list-style-type: none"> ・生分解性素材の活用や複数の緩効性肥料を組み合わせた施肥管理により、資材の有効活用に取り組む。 ・クリーンラーチの挿し木管理では有効性を考慮した資材の選定により、品質管理の効率化を図る。 ・施設整備による生産量の増加により、作業時期の平準化による軽労化及び雇用の創出を図る。 ・実習生の受入、植付器具の貸出や植樹祭等へのコンテナ苗の提供を通じて、コンテナ苗のPRに貢献する。 ・移植工程において台座を改良し、苗の規格に応じて効果的に調整することにより、作業工程の効率化を図る。 |
| 安藤山林緑化(株) (中富良野町) | <ul style="list-style-type: none"> ・資材地域の環境に適した資材を取り入れるため、資材を比較検討し、苗木の品質向上を目指す。 ・クリーンラーチについて挿し穂管理の機械化により、移植苗の安定的な管理と作業工程の省力化を図る。 ・これまでの広葉樹の苗木生産や管理技術をコンテナ苗生産に活かし、広葉樹材を含めた地域の需要に貢献する。 ・施設の有効活用による栽培環境が異なる育苗期間を設定し、苗木の品質向上について検証する。 ・計画的な地元からの雇用や環境整備の充実を図り、事業期間の拡充や繁忙期の業務分散につなげていく。 |
| 佐々木産業(有) (遠軽町) | <ul style="list-style-type: none"> ・遮光ネットや寒冷紗を活用するため、高温少雨の気象害対策に資する施設を整備し、品質確保を図る。 ・保冷庫の活用した幼苗の保管により、移植時期の拡充と作業期間の平準化を進める。 ・継続的な取組として順化作業の早期化を検討し、品質の向上と苗木生産体制の強化に取り組む。 ・作業工程の見直しと資材の有効活用に加え、選苗機と移植機の導入を検討し、コストの縮減を図る。 |
| 北振種苗(有) (雄武町) | <ul style="list-style-type: none"> ・北海道スマート林業導入支援事業により導入した機械を通じて、作業工程の効率化と軽労化を図る。 ・樹種に適した用土を作成するため、購入した培土を独自で混合し、コスト削減につなげていく。 ・育苗段階において生分解性不織布を有効的に活用し、発根状況の確認や選苗の効率化を図る。 ・地域の特性を活かした雪中埋蔵について保管方法を工夫し、苗木品質の確保と出荷期間の拡充を図る。 |
| (有)岸苗畑 (滝上町) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のバイオマスボイラーの余剰熱を隣接する施設の床暖房に利活用し、地域振興へ貢献する。 ・クリーンラーチでは再利用した用土と混合した肥料を組み合わせ、資材の有効活用を図る。 ・緩効性肥料を混合した施用とカラマツでは試験的に300ccコンテナでの育苗により、規格以上の苗を出荷する。 ・移植工程において効率的な機械配置により培地を運び、移植本数の増加と作業の省力化を図る。 ・社外研修の知識を活かして肥料を試験的に使用し、苗木の品質向上に向けて取り組む。 |
| (有)大坂林業 (幕別町) | <ul style="list-style-type: none"> ・「新しい林業」経営モデル実証事業に採択され、機械化による再造林の効率化及び省力化に貢献する。 ・低温庫を活用した貯蔵方法の工夫や春期に休眠苗を出荷することで、活着率の向上を目指す。 ・苗畑での作業のほか、事業計画に他作業を計画的に加え、作業時期の平準化と軽労化に取り組む。 ・需要に応じて工夫した資材とフォークリフトを効率的に活用し、出荷作業の効率化を図る。 ・樹種の特성에応じた育苗施設を計画的に整備することで、生産量の増加と供給時の歩留まりの向上を図る。 |
| (有)谷口種苗農園 (標茶町) | <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスの増設による生産体制を強化し、地域の需要に応えるとともに生育期間の短縮に取り組む。 ・クリーンラーチについてハウス内での台木管理を工夫して、品質確保と生産本数の増産を図る。 ・保冷施設を更新して有効的な活用により、出荷時期の拡充と通年雇用に向けて取り組む。 ・インターシッピングに対応するため、敷地内の宿泊施設を整備して環境改善を図り、コンテナ苗を通じて林業のPRIに貢献する。 |